

タマリハ古谷祥宏先生に聞く!

小規模デイサービスを立ち上げたいと思っていた



大学生（福祉関係を専攻）のころ、小規模デイサービスを起業したいと思っていました。まずはアルバイトをしようと思っていたところ、目黒でちょうど立ち上げたばかりのデイサービスに出会いました。その施設は職員が他業界の人（スタイリスト、デザイナー、カメラマンなど）ばかりで、副業で福祉に関わっていました。

利用者様の服装や髪型、メイク、ネイルなどをスタイリッシュに格好良く仕立て上げ、ショットを撮ったり写真を撮ったり。利用者様の皆様が生き生きと散歩したり、おしゃれに関心を持ったところ、おしゃれに思つてきました。そこで自分が資格を取つて施設のためになればと思つて、大学を卒業後タマリハ言語聴覚学科に入学しました。

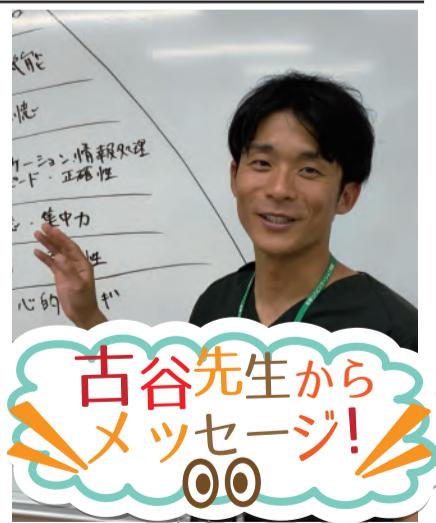
枠にとらわれない施設に衝撃

う土地柄か、おしゃれに関心がある人が多いのかもしれませんが、とても満足度が高いように感じました。一方で、福祉業界ではあり得ないことが多く、例えば食事も全くの普通食で、飲み込みが心配な人もいました。福祉施設としての専門的な知識が必要だと実感しました。ただ、その枠にとらわれない自然体の関わりも大切なだと衝撃を覚えました。そこで自分が資格を取つて施設のためになればと思つて、大学を卒業後タマリハ言語聴覚学科に入学しました。

現場で言語聴覚士として仕事をし超えることや多方面思考の大切さを学びました。コミュニケーションとは、「話す」だけでなく「感じます」。そこで自分が資格を取つて施設のためになればと思つて、大学を卒業後タマリハ言語聴覚学科に入学しました。

言語聴覚士の仕事は、多方面に境界性がなく自由で良いなと思いました。結婚など人生設計も同様に自由に組み立てることがでできることもメリットだと思いました。仕事としては、患者様の深い部分、人の気持ちや感情に関することができる職業だと思いました。時には怒りを受け止めたり、辛いことや大変なこともあります。それでも、その人自身がわかると、自分の接し方はもう一つの人生の一部に深くあります。自由に、その人らしさを大切にしていきたいと思っています。

言語聴覚士を目指す人へ



古谷先生から
メッセージ!
00

好奇心旺盛でひそかな大志を抱く　～編集後記～

取材の際に、個人的な第一印象について「おとなしくて引っ込み思案な方を見えた」とお伝えしたところ、「それほど間違つていませんよ」とのこと。ところが、お話を伺ううちに、非常に柔軟で自由な発想をお持ちだということが分かってきました。どんなことも楽しんで学ぶ

興味を持つ、これと決めたら、とことんハマる。そして何より独自の観察眼と洞察力のするどさが際立つているように感じました。お互いの興味について話をはじめた。一人ひとりの人生の一部に深く関わることができる点も、この仕事の魅力だと思います。



多摩リハビリテーション学院専門学校

作業療法学科・理学療法学科（高卒3年課程）

言語聴覚学科（大卒2年課程）介護福祉学科（高卒2年課程）

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布1-642-1 TEL.(0428)-21-2001 FAX.(0428)-21-2410

